

年間授業計画

新宿山吹 高等学校 令和4年度 (第1学年相当用)

教科 **国語**

科目 **現代の国語**

教科: 国語 科目: 現代の国語 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年相当

使用教科書: 東京書籍「現代の国語」

教科	国語	の目標:
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	

科目	現代の国語	の目標:
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
読解編 1 視点を変える 【知識及び技能】 ・日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論の展開に注意して評論を読み、技術の発達と道徳的な判断力の関係について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 ・タイトルや具体例に注意して主張を捉え、物事を多様な視点から見る姿勢を養う。	「木を見る、森を見る」 「技術が道徳を代行するとき」 「水の東西」	○	○		【知識及び技能】 ・日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論の展開に注意して評論を読み、技術の発達と道徳的な判断力の関係について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・タイトルや具体例に注意して主張を捉え、物事を多様な視点から見る姿勢を持つようとしている。	○	○	○	12
探究編 1 【知識及び技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の構成や、紹介の仕方を工夫して話す。 【学びに向かう力、人間性等】 ・図書館の利用法を学び、適切に利用できるようにする。	本を紹介する	○	○		【知識及び技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の構成や、紹介の仕方を工夫して話すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・図書館の利用法を学び、適切に利用できる。		○	○	4
定期考査						○	○		2
読解編 2 言葉へのまなざし 【知識及び技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者独自の表現や具体例の働きに注意して読み、コミュニケーションの在り方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持って言語生活を豊かにする。	「『身銭』を切るコミュニケーション」 「言葉は世界を切り分ける」 「解釈」			○	【知識及び技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者独自の表現や具体例の働きに注意して読み、コミュニケーションの在り方について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持って言語生活を豊かにしようとしている。	○	○	○	12
探究編 4 【知識及び技能】 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を意識して、自分の意見を文章としてまとめることができる。	新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる			○	【知識及び技能】 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を意識して、自分の意見を文章としてまとめている。	○	○	○	4
定期考査						○	○		2

前期

年間授業計画

新宿山吹 高等学校 令和4年度 (第1学年相当用)

教科

国語

科目

言語文化

教科: 国語

科目: 言語文化

単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年相当

使用教科書: 東京書籍「精選 言語文化」

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
古文編1 古文入門 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って古文のおもしろさを読み取ることができる。	「児のそら寝」 「用光と白波」 「絵仏師良秀」 「大江山の歌」		○		【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って古文のおもしろさを読み取ろうとしている。	○	○	○	10
現代文編2 小説1 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めることができる。	「羅生門」		○	○	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。	○	○	○	8
定期考査						○	○		2
漢文編1 漢文入門 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つことができる。	訓読の基本 故事成語一三編 「矛盾」 「助長」 「推敲」		○		【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つことができる。	○	○	○	8
古文編2 随筆 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えることができる。	「徒然草」 「方丈記」 「枕草子」		○		【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。	○	○	○	8
定期考査						○	○		2

